

15. 若者の投票率UP!プロジェクト

若者の投票をUP!させよう!

このプロジェクトは若者の投票率を上げるために活動を行っています。三重県、伊勢市選挙管理委員会さんと連携し、現状を改善していただけるような活動を行っています。高校での出前授業や街頭啓発を行い、投票を呼び掛けています。この活動は目に見えて成果が分からない所が難しいところだと考えています。その中でも投票率を上げるためにはどのような活動が効果的なのか考え、行動していくところがこのプロジェクトの魅力であると考えています。

メンバー数 : 4名
活動場所 : 伊勢市
実施主体 : 伊勢市選挙管理委員会
担当教員 : 富永 健 (現代日本社会学部)
活動年度 : R02, R03, R04, R05, R06



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

一年間の活動のまとめとして、鳥羽商船での模擬投票や衆議院選挙の際の投票立会人としての参加が中心となった。私は参加できていないが、今年初めての取り組みとして期日前投票の際に期日前投票立会人として投票に関わった。これからの活動として今後取り組んでいきたいと考えている。鳥羽商船高等専門学校での模擬投票では実際に投票された紙の開封と集計を行った。実際に集計を行ってみると無効票となるものや、そもそも書かれていないものがあり、実際の選挙で起こっていることの一部を見ることが出来たと思う。また学生会議では選挙啓発リーフレットの選定を行った。この活動では指定されたものから選択する形であったが、修正点や改善案を検討することが出来たのが良かったと考えている。ミタス伊勢での街頭啓発ではメンバーの一人がめいすいくんという着ぐるみの中に入って啓発活動を行った。今年は選挙が4回行われるため投票を求める活動として今後の選挙で啓発の効果がみられるかを注目している。三月には高校での模擬投票や啓発活動が控えているため、頑張っていきたいと考えている。

今年の活動としての課題は、各活動における参加人数が少ない点があげられる。メンバーを増やすことには成功したが、活動に参加していくことが難しいメンバーがいるため今後参加する機会を増やしていけるように努力していきたい。また、このプロジェクトでは生徒主体で活動していく内容が現在はなくなっているため、今後選挙管理委員会さんと話し合い生徒主体の活動に取り組んでいきたいと考えている。

月別活動

- 4月 伊勢市選挙管理委員会さんとの打ち合わせ
- 5月 CLL活動説明会打ち合わせ
- 6月 鳥羽商船高等専門学校での模擬投票のお手伝い
- 8月 三重県、伊勢市選挙管理委員会さんとの今後の打ち合わせ
- 9月 シンポジウムでの発表
- 10月 期日前投票立会人として活動
- 1月 ミタス伊勢での街頭啓発
- 3月 皇学館高校、伊勢学園、宇治山田商業高校での実績報告、模擬投票お手伝い

活動を通して学んだこと

若者の投票率を上げることがいかに難しいのかを実感した。依然として若者の投票率は全体投票と比較して低い傾向にあり、さらなる取り組みが必要であると学んだ。特に18歳より19歳から24歳までの投票率が低くなっていることを学んだ。活動の中では三重県、伊勢市選挙管理委員会との連携により選挙に行く必要性やなぜ若者が投票に行かないことが問題なのかを学んだ。

実施主体からのコメント

伊勢市選挙管理委員会
ご担当者様

今後は学生たちから活動についての案を考え、提供していただいて活動を学生中心に行えると良いと考えている。また、今年度は選挙が4つ行われるため活動を活発にしていきたい。



担当教員より

現代日本社会学部 富永 健

平成6年度(2024年度)も、引き続き選挙啓発の活動に取り組みました。具体的な内容は報告に記載しているとおりですが、県選挙管理委員会並びに伊勢市選挙管理委員会に協力して、様々な活動に参加しました。これらの活動によって、選挙・投票の大切さを周知することに貢献できたと思います。



こんな人におすすめ!

- ・選挙に興味関心がある人
- ・投票率を上げるための政策と一緒に考えていける人
- ・高校等での出前授業に興味がある方

成果物 / 制作物